

ラティス･テクノロジー、3D データを活用した テクニカルイラスト製品を大幅強化

パーツカタログ作成のための新機能搭載で業務を効率化

2006 年 6 月 15 日、東京 (日本) – ラティス･テクノロジー株式会社（社長　鳥谷　浩志、以下ラティス社）は、3D **データを利用したパーツカタログ、取扱説明書向けのテクニカルイラストレーション作成製品を** 6 **月** 21 **日より本格販売します。**XVL Studio **シリーズのイラスト作成オプション（以下、本製品）を大幅に強化し、**3D **データを活用した手軽なパーツカタログの作成を実現します。**

本製品では、3D CAD **で作成された** 3D **データを** IGES **や** XVL **形式で読み込み、分解図を作成し、イラストを** SVG **などの形式でベクターデータとして出力します。**3D **データの分解は、分解手順を規定する「分解ツリー」を定義することにより自動的に行われます。本製品では、この分解ツリーの情報を** CSV **形式にて出力可能にしました。**CSV **には、部品名称、番号、属性情報といった部品情報が部品表形式で出力されます。このイラストデータと部品表を** Adobe **R** Illustrator **R などのイラスト編集ソフトなどで合成することによりパーツカタログが簡単に作成できます。**

ほとんどのパーツカタログは、イラストと部品情報の組み合わせで表現されています。従来は、部品のイラストを個々に作成し、部品情報と手作業で対応させていたため、多大な工数がかかっていました。本製品では、部品表と共通の部品番号を持つイラストを自動作成、出力できるので、イラスト作成効率を大幅に改善します。また、処理が自動化されているので、設計変更への対応も容易になります。

本製品では、従来と比較してイラスト出力に要する時間をほぼ半減させました。大量のイラスト作成により短時間で対応することが可能です。また、分解プレビュー機能を搭載し、分解結果を確認しながら作業を進めることが可能になりました。さらに、技術文書によく利用される断面形状のイラストも作成できるようになるなど、イラスト作成業務での実用性を大幅に向上させました。

さらに、紙のマニュアルをデジタル情報に置き換えたいという要求に応え、3D Web **コンテンツ作成ソフトウェア** XVL Web Master (**別売**) **も機能強化しました。**XVL Web Master **を利用すればイラスト作成用の** XVL **データから部品表とイラストなどからなる** Web **ページを自動生成できます。イラストを紙のマニュアルとしても、**Web **共有のデジタル情報としても活用できるようになり、作成したデータを有効に活用できます。**

本製品はソフトウェアパッケージ「 テクニカルイラストパック」として、2006 **年** 6 **月** 21 **日から** 2006 **年** 9 **月** 30 **日までの期間限定特別価格** 399,000 **円** (**税込**)**で販売します。「 テクニカルイラストパック」には、**XVL Studio Basic Version 6.0 **とイラスト作成オプション、および一年分のサポートが含まれます（定価合計** 504,000 **円**(**税込**)**）。**
「テクニカルイラストパック」は、工業製品のパーツカタログ、取扱説明書、および整備マニュアル用のテクニカルイラストを制作する企業および個人のイラストレータによる活用を見込んでいます。
期間中 500 ライセンスの出荷を計画しています。

<用語解説>

XVL
「XVL」(eXtensible Virtual world description Language) **は、**XML（eXtensible Markup Language）**をベースとした超軽量** 3D **表現として、ラティス社が提唱する表現形式です。**XVL **を用いることで、**3D CAD **などで生成されたデータを数百分の** 1 **にまで軽量化することができます。また、メモリが少ない環境で巨大な** 3D **データを高速表示する技術の実装により、ネットワーク環境での** 3D **データ共有に最適な形式です。さらに、**XVL **に変換されたデータは、無償の** XVL Player **で閲覧が可能です。**(http://www.xvl3d.com)**。現在、**XVL **をベースとした技術文書を作成する製品群や、干渉チェック機能を搭載したビューワ製品などが市場で高く評価されています。大手製造業では、**3D CAD **の普及により蓄積した** 3D **データの有効活用を目的に、**XVL **製品を全社規模で導入するケースが増加し、国内外で急速に普及が進んでいます。**

会社概要

ラティス・テクノロジー株式会社概要
ラティス・テクノロジー株式会社はネット上でのグラフィックスソリューションを提供するために 1997 **年** 10 **月、慶應義塾大学の千代倉弘明教授（現会長）らが中心となって設立したソフトウェアベンチャ企業です。「**XVL**」技術の研究開発と標準化、**CAD **や** CG **データを** XVL **に変換し、これを編集してネット配信可能にする** XVL **製品群を開発提供しています。「**XVL**」を最適処理するネット指向** 3D **コンポーネントソフト、**XVL **カーネルをベースにネットワーク上でのグラフィックスソリューションを幅広く提供しています。**

ラティス・テクノロジー株式会社
本社　：　〒102-0074　**東京都千代田区九段南** 3-8-11 **飛栄九段ビル** 4F
TEL : 03-5212-5121 / FAX : 03-5212-5122
ホームページ　：　http://www.lattice.co.jp　E-mail: casual3d@lattice.co.jp
代表取締役社長　：　**鳥谷　浩志**
資本金　：　4 **億** 3,750 **万円**
設立　：　1997**年**10**月**

当リリース記事に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

ラティス・テクノロジー株式会社　企画本部　マーケティング室
松浦　真弓 E-mail：matsuura@lattice.co.jp　/　TEL　：　03-5212-5121

XVL**はラティス・テクノロジー株式会社の登録商標です。**
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。